KENWOOD

ポータブル CD プレーヤー

DPC-MP727

取扱説明書

**お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。本説明書の他に別冊「安全上のご注意」が付属されています。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は国内専用モデルですので、本機のACアダプターを外国で使用することはできません。**

Precaution for use
This unit is designed for domestic use only, and it is very dangerous to use the attached AC adaptor abroad. Never use it out of Japan.

充電式電池を初めてご使用になるとき
付属の充電式電池は充電されていません。「充電のしかた」をよくお読みになり、充電してからご使用ください。

本機ではオーディオCD（CD-DA）以外に、MP3またはWMAファイルが収録されているメディアを再生することができます。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-4988-00 00 (CH) (J) CR 0012

定 格

規格
信号読み取り方式 .... 非接触式信号読み取り（半導体レーザー）

特性
周波数特性（EIAJ） .... 20Hz～20kHz, ±3dB
ヘッドホン出力（16Ω, 1kHz） .... 9mW ＋9mW
LINE OUT 出力レベル/インピーダンス .... MAX 0.85V/10kΩ

電源
外部直流電源 .... DC 5.1v
市販単三型アルカリ乾電池（LR6 2本、または4本） .... DC 3V
充電式電池（NB-160 2本） .... DC 2.4V

最大外形寸法（幅×高さ×奥行） .... 129mm ×32mm ×138mm
質量（重量） .... 260g（正味）

電池使用時間（連続リピート再生時）

電池	**D.A.S.C.オフ時**	**D.A.S.C.オン時**	**MP3/WMAファイル再生時**
市販単三型アルカリ乾電池（LR6 2本）	約9時間	約10時間	約10時間
市販単三型アルカリ乾電池（LR6 4本）	約18時間	約22時間	約22時間
充電式電池（NB-160 2本）	約7時間	約8時間	約8時間

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

付属品

ACアダプター	1個
ヘッドホン	1個
リモコン	1個
充電式電池（NB-160）	2本
外部乾電池ケース	1個
バッテリーキャリングケース	1個

別売アクセサリー

カーカセットアダプター（CAC-2）
カーバッテリーアダプター（DC-C3A）（DC12V車専用）
充電式電池（NB-130）

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- **商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。**
  カスタマーサポートセンター （東京）電話（03）3477-5335 〒153-0042　東京都目黒区青葉台3-17-9
  カスタマーサポートセンター （大阪）電話（06）6394-8085 〒532-0034　大阪市淀川区野中北2-1-22
- **アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。**
- **ケンウッドホームページ　http://www.kenwood.co.jp**

本機で再生できるメディアについて

オーディオCD（CD-DA）以外で使用できるメディア

使用できるメディア　：CD-ROM、CD-R、CD-RW
使用できるフォーマット　：ISO9660 level 1およびlevel 2（拡張フォーマットを除く）
再生できるファイル　：MP3およびWMAファイル

本機で再生するメディアの作成について

MP3やWMAファイルに圧縮するとき

MP3やWMAファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートを次のように設定してください。
MP3ファイルのとき　：推奨128kbps（32kbps～320kbps）
WMAファイルのとき　：推奨128kbps（64kbps～160kbps）
- 本機は、32kHz、44.1kHz（推奨）、48kHzのサンプリング周波数に対応しています。

フォルダ分けをするとき

MP3やWMAファイルは、高音質の音声ファイルをかなり高い圧縮率で圧縮するため、オーディオCDの数倍の曲数を1枚のメディアに収録させることができます。複数のジャンルやアーティストの曲を1枚のメディアに収録するときは、ジャンルやアーティスト、アルバム別のフォルダに分けてから収録すると検索やリピート再生をするときに便利です。
- 本機で再生できる最大フォルダ数は23、ファイル数は200に制限されています。
- 書き込みソフトによっては、意図した順番に書き込まれない場合もあります。

ファイル名を付けるとき

ファイル名は、半角英字のA～Z、半角数字の0～9、半角の_（アンダースコア）を使って付けます。表示される文字数は、12文字までです。
ファイル名には、必ず“ .MP3 ”（MP3ファイル）、“ .WMA ”（WMAファイル）の拡張子を付けます。
- MP3やWMA以外のファイルにMP3またはWMAの拡張子を付けないでください。本機で再生できるファイルと誤認識され、大きな雑音が出てヘッドホンが破損したり耳に悪い影響を与える恐れがあります。

フォルダ名とファイル名を付けるときのヒント

MP3やWMAファイルが収録されているメディアを本機で再生すると、フォルダとファイルが書き込まれた順に曲が再生されます。フォルダ名やファイル名の頭に“ 01 ”～“ 99 ”などと再生する順番に番号を入力してから書き込むと、再生する順番を設定できる事があります。
- 書き込みソフトによっては、意図した順番に書き込まれない場合もあります。

付加情報について

MP3やWMAの圧縮ソフトによっては、それぞれのファイルの付加情報として、タイトルやアーティストまたはその他の情報を音声ファイルといっしょに保存することができます。
本機では、あらかじめ保存されているタイトル・アーティスト情報を表示させることができますが、本機で表示させるタイトル・アーティスト名は半角英数字を使って入力してください（文字数は各30文字まで）。
- タイトル・アーティスト名の入力や保存の方法は、圧縮ソフトによって異なります。圧縮ソフトの取扱説明書またはヘルプファイルをご覧ください。

メディアとファイルの確認

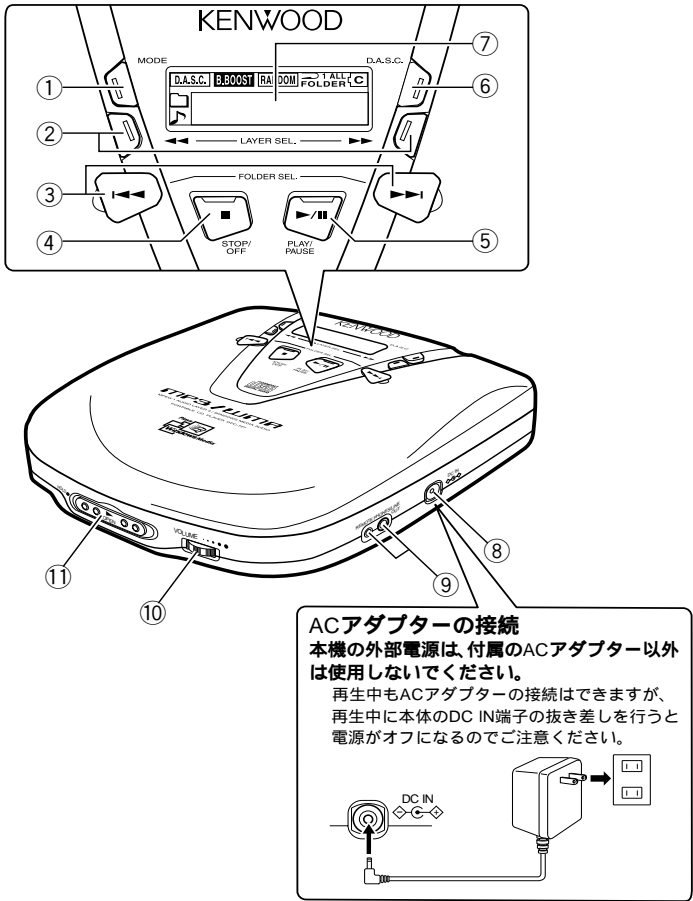
MP3やWMAファイルをメディアに書き込む前に、書き込みをするパソコンでそれぞれのファイルが正しく再生されることを確認してください。書き込まれたファイルは正しく再生されることを確認してください。
- メディアに書き込んでいる途中に、ファイルが正しく再生されることを確認することはできません。

メディアに書き込むとき

書き込んだメディアは必ずセッションクローズまたはファイナライズをしてください。セッションクローズまたはファイナライズされていないメディアを本機で再生すると、正しく再生できない場合があります。
- 書き込みソフトによっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
- 本機で再生するMP3やWMA以外のファイルやフォルダなどを書き込まないようにしてください。
- MP3やWMAファイルをメディアに書き込むときは、10セッション以内で書き込むことをおすすめします。
- MP3やWMAのファイル（CD-ROM）と音楽CD情報（CD-DA）を1枚のメディアに書き込むと再生できない場合があります。

各部の名前

本体

ACアダプターの接続
本機の外部電源は、付属のACアダプター以外は使用しないでください。
- 再生中もACアダプターの接続はできますが、再生中に本体のDC IN端子の抜き差しを行うと電源がオフになるのでご注意ください。

① **MODEキー**
再生モードや表示モードなどを切り換えるときに使います。

② **◄◄、►►キー**
早送り／早戻しをするとき、フォルダを選ぶときに使います。

③ **|◄◄、►►|キー**
頭出しをするとき、各モードの設定をするとき、フォルダを選ぶときに使います。

④ **STOP／OFFキー**
停止、電源のオフ、充電をするときに使います。

⑤ **PLAY/PAUSEキー**
再生、一時停止、電源をオンにするときに使います。

⑥ **D.A.S.C.（デジタルアンチショックサーキット）キー**
音飛びガード機能を切り換えるときに使います。

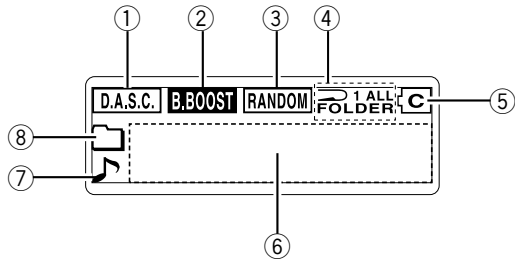
⑦ **液晶ディスプレイ**

⑧ **DC IN（外部電源端子）**
付属のACアダプターを接続します。
カーバッテリーで再生するときは、別売のカーバッテリーアダプター（DC-C3A）を接続します。

⑨ **REMOTE PHONES/LINE OUT（リモート／ヘッドホン／ラインアウト）端子**
付属のリモコンまたはヘッドホンを接続します。
LINE OUTとして使用する場合はアンプやアンプ内蔵スピーカーなどに接続します。
カーオーディオで再生するときは、別売のカーカセットアダプター（CAC-2）を接続します。

⑩ **VOLUME（音量）つまみ**
音量を調節するときに使います。

⑪ **OPEN/HOLD（オープン／ホールド）スイッチ**
上ぶたを開けるとき、ホールド機能のオン／オフを切り換えるときに使います。

液晶ディスプレイ

① **D.A.S.C.表示**
音飛びガード機能がオンのときに点灯します。

② **B.BOOST表示**
低音域を強調しているときに点灯します。

③ **RANDOM表示**
ランダム再生が選ばれているときに点灯します。

④ **リピート表示**
リピート再生が選ばれているときに点灯します。

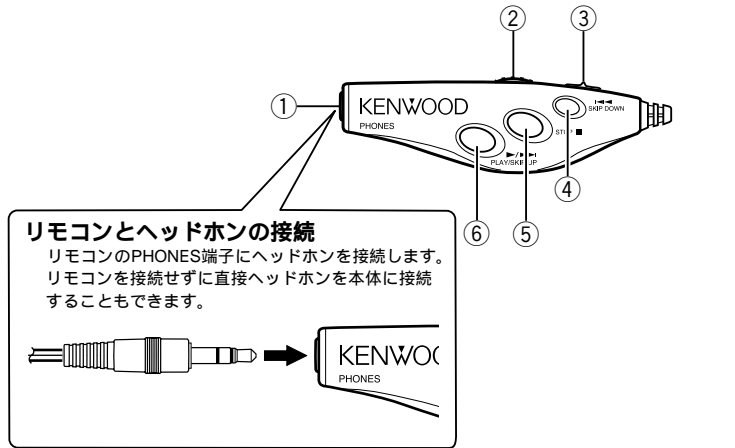
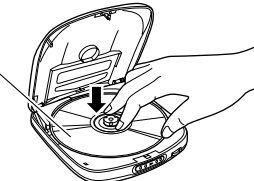
⑤ **バッテリー表示**
充電しているときに点灯します。

⑥ **情報表示部**
曲番号、経過時間、タイトルなどのディスク情報や本機の状態が表示されます。

⑦ **♪マーク**
本機にMP3およびWMAファイルが収録されているメディアが入っているとき、選ばれているフォルダの中に再生できるファイルがあるときに点灯します。（フォルダセレクト時は点滅します。）

⑧ **フォルダマーク**
本機にMP3およびWMAファイルが収録されているメディアが入っているとき、選ばれているフォルダの中にさらにフォルダがあるときに点灯します。（フォルダセレクト時は点滅します。）

リモコン

リモコンとヘッドホンの接続
- リモコンのPHONES端子にヘッドホンを接続します。リモコンを接続せずに直接ヘッドホンを本体に接続することもできます。

① **PHONES端子**
ヘッドホンを接続します。

② **VOLUME（音量）つまみ**
音量を調節するときに使います。

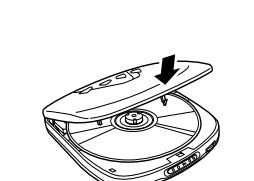
③ **HOLDスイッチ**
ホールド機能のオン／オフを切り換えるときに使います。

④ **|◄◄（SKIP DOWN）キー**
頭出しなどをするときに使います。

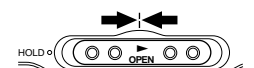
⑤ **STOP ■キー**
停止、電源のオフをするときに使います。

⑥ **►/►►|（PLAY/SKIP UP）キー**
再生／頭出しなどをするときに使います。

ディスクを入れる

1 **OPEN/HOLDスイッチを矢印の方向にスライドさせて、上ぶたを開ける**

2 **ディスクを入れる**

- ディスクの穴の近くを押して、中心軸にカチッと入るように入れます。

3 **上ぶたを閉じる**

- 上ぶたの手前中央を押して、カチッと音がするまでしっかり閉めます。

オーディオCD (CD-DA)を再生する

一曲目から順に聞く

1 **OPEN/HOLDスイッチが中央の位置になっていることを確かめる**

- OPEN/HOLDスイッチが中央になっているときは、ホールド機能は解除されています。キー操作をするときは、ホールド機能を解除してから操作します。

2 **PLAY/PAUSEキーを押す**

- 電源がオンになり、1曲目から再生が始まります。
- リモコンの▶/▶▶|キーを押しても同様の操作ができます。

3 **VOLUMEつまみを回して、音量を調節する**

- リモコンの音量つまみは、本体の音量とは連動していません。リモコンの音量つまみを最大にすると本体で調節した音量に聞こえます。

曲の頭出しをする

|◀◀または▶▶|キーを押す

▶▶|: 次の曲を選ぶときに押します。
|◀◀: 前の曲を選ぶときに押します

- 押した回数だけ曲の頭出しをします。
- 再生中に|◀◀キーを1回押すと、再生中の曲の最初に戻ります。
- リモコンの|◀◀キーまたは▶/▶▶|キーを押しても同様の操作ができます。

早送り／早戻しをする

本体のみ：
再生中に▶▶（早送り）または◀◀（早戻し）キーを押し続ける

- 指を離したところから再生します。
- 一時停止中は高速で早送り／早戻しをします。

再生を一時停止する

本体のみ：
再生中にPLAY/PAUSEのキーを押す

- 表示部に再生中の曲のトラック番号または曲の経過時間が点滅し、一時停止します。
- もう一度PLAY/PAUSEキーを押すと再生に戻ります。

停止する

STOPキーを押す

- 表示部に総曲数またはトータル時間が表示されます。
- STOP/OFFキーを押すと、自動的に停止した位置が記憶されます。ディスクを変えたり電源をオフにせずに▶キーを押すと記憶された位置から再生を始めます。
- リモコンのSTOP■キーを押しても同様の操作ができます。

電源をオフにする

停止中にSTOPキーを押す

- リモコンのSTOP■キーを押しても同様の操作ができます。

オートパワーオフ機能について

停止状態で3分以上経過すると、電池の消耗を防ぐために自動的に電源がオフになります。

MODEキーを使って設定する

MODEキーを使って、音質、再生の方法や表示を変えることができます。

MODEキーを押すたびに次のように設定するモードが変わります。

→ **B.BOOSTの設定**:
ヘッドホンで聞くと不足気味になる低音域を強調します。
再生モードの設定:
繰り返し再生やランダム再生ができます。
表示の設定:
CDの曲数や時間の情報を見ることができます。
MODEキーによる操作の解除

低音域を強調する（B.BOOSTの設定）

1 **MODEキーを数回押して、「BB off」または「BB on」を点滅表示させる**

- 8秒以内に次の操作をします。

2 **|◀◀または▶▶|キーを押す**

キーを押すたび表示が次のように切り換わります。

→ **"BB off"** ：低音域の強調が解除されます。
→ **"BB on"** ：低音域が強調されます。

- 上ぶたを開けるとB.BOOST設定は解除されます。

リピート再生・ランダム再生する（再生モードの設定）

1 **MODEキーを数回押して、再生モード表示にする**

再生モードは現在設定されているモードが点滅表示されます。

2 **|◀◀または▶▶|キーを押して再生モードを選ぶ**

キーを押すたび表示が次のように切り換わります。

→ " OFF " ：**リピート再生とランダム再生を解除します。**
" ONE " ：**1曲リピート**
再生中または選んだ曲を繰り返します。
" ALL " ：**全曲リピート**
（CD-ROM時はフォルダリピート" FOL. "）
全曲を繰り返します。（フォルダ内のファイルを繰り返します。）
→ " RANDOM " ：**ランダム再生**（停止中のみ選択できます。）
曲番を無作為に選んで再生します。全曲の再生が終了すると停止します。
（ランダム再生の解除は停止中のみです。ランダム設定時はフォルダサーチ、フォルダセレクトは使用できません。）

- 設定した再生モードがアイコンで表示されます。
- 上ぶたを開けるとB.BOOST設定は解除されます。

CDの情報を見る（表示の設定）

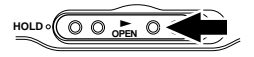
本体のみ：

1 **MODEキーを数回押して、CDの情報表示モードにする**

CDの情報表示モードは現在設定されているモードで点滅表示されます。

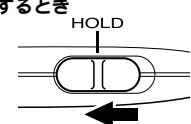
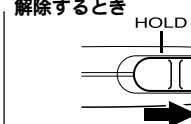
2 **|◀◀または▶▶|キーを押して表示を変える**

キーを押すたび表示が次のように切り換わります。

停止中：
→ 総曲数
→ トータル時間

再生中：
→ 再生中の曲番号
→ 曲の経過時間

誤操作を防ぐ

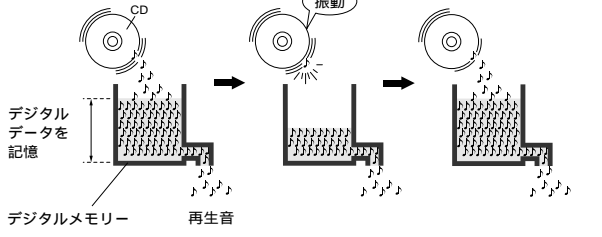
特定の操作キー以外のキーが働かなくなるホールド機能を使って、バッグに入れたときなどの誤操作を防ぎます。

本体：
OPEN/HOLDキーをHOLD側にスライドさせる

ホールドするとき　　**解除するとき**

- OPEN/HOLDスイッチとVOLUMEつまみ以外の本体の操作キーが働かなくなります。
- 操作するときは、OPEN/HOLDスイッチを中央の位置にしてホールド機能を解除してから操作してください。
- 本体のOPEN/HOLDスイッチをホールドにセットしても、リモコンキーはホールドされません。

リモコン：
HOLDスイッチをHOLD側にスライドさせる

ホールドするとき　　**解除するとき**

- リモコンのVOLUMEつまみ以外の操作キーが働かなくなります。
- リモコンで操作するときは、HOLDキーを解除側にしてホールド機能を解除してから操作してください。

音飛びガード機能(D.A.S.C.)について

※ D.A.S.C. (Digital Anti Shock Circuit)

音声データをメモリーに記憶し、メモリーから取り出しながら再生することによって振動などによる音飛びを防止します。
MP3、WMAの時は常にD.A.S.C.機能が働きます。（転送ビットレートが、128kbps、サンプリング周波数が、44.1kHzで書き込まれた場合：約110秒。）

音飛びガード機能のしくみ

- 振動の度合いによっては、メモリーのデータを使い切ってしまい一時的に音飛びガード機能が効かなくなる場合があります。

D.A.S.Cの設定（オーディオCD（CD-DA）のみ）

D.A.S.C.キーを押す

キーを押すたびに表示が次のように切り換わります。

→ " 40-SEC " ： 約40秒分の音声データが記憶されます。音飛びガード機能の効果が大きいモードです。
" 10-SEC " ： 約10秒分の音声データが記憶されます。音飛びガード機能の効果は40-SECモードに比べて小さくなりますが音質は良くなります。
D.A.S.C. 解除 ： 音飛びガード機能を解除します。
（D.A.S.C. 消灯）

- モードを切り換えるときは、再生音が途切れます。
- 上ぶたを開けると、D.A.S.C.設定は40-SECになります。

快適にお使いになるために

充電池使用上のご注意（ニッケル水素充電池・NB -160）

- 専用の充電池以外のものは使わないでください。故障の原因となります。
- 本機の充電池にはニッケル水素充電池を使用しております。この電池の特性上、充電池を使用しなくても最低2か月に1回は充電してください。
- 充電池は約300回充電することができます。
- 充電しても使用時間が短かくなったときは、充電池を新しいものと交換してください。（別売品NB-130をご使用ください）
- 本機は電源がオフの時でも、わずかに電流が流れます。長い間使用しないときは、充電池を外しておいてください。
- 充電式電池を持ち運ぶときは付属のバッテリーキャリングケースに入れてください。ケースに入れずに、キーホルダーなどの金属類と一緒にポケットなどに入れると、電池の＋と−がショートして危険です。

充電中や使用中に、充電池が暖かくなることがありますが異常ではありません。

ステレオ音のエチケット

- 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、となり近所への配慮を十分にいたしましょう。
- 特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

故障かなと思ったら....

故障と考えられる症状でも、ほかに原因があることがあります。表を参考に、もう一度確かめてみましょう。（表のような原因でサービスをご依頼になりますと、内容によっては有料となる場合があります。）

症　状	原　因	処　置
操作キーを押しても動作しない。	● 本体、またはリモコンのHOLDスイッチがHOLDにセットされている。 ● 電池切れ。 ● ACアダプターまたはカーバッテリーアダプターがはずれている。 ● 使用しているDISCフォーマットが違っている、またはファイナライズされていない。 ● MODEキー操作手順または、フォルダおよびファイルの選び方が正しくない。	● ホールドを解除する。 ● アルカリ乾電池を2本とも交換、または充電式電池を充電する。 ● 正しく接続する。 ● 使用できるフォーマットで作成する。 正しくファイナライズされたものを使用する ●「MP3ディスクまたはWMAディスクを再生する」の手順を正しく行う。
ヘッドホンから音が出ない。	● ヘッドホンの接続が不完全。 ● 本体、またはリモコンでボリュームが絞られている。	● PHONES端子にしっかり接続する。 ● 本体、またはリモコンでボリュームを調節する。
音が飛ぶ、または音が途切れる。	● D.A.S.C. (音飛びガード) 機能がオフになっている。 ● 震動が激しすぎて、D.A.S.C.の能力を超えている。 ● ディスクが汚れている。 ● レンズが汚れている。 ● 電池が消耗している。	● D.A.S.C. 機能をオンにする。 ● 震動の少ない場所に置いてください。 ● クリーニングしてください。 ● クリーニングしてください。 ● 交換または充電してください。
雑音が入る。	● ヘッドホンプラグが汚れている。 ● 電池が消耗している。 ● ヘッドホンの接続が不完全。	● クリーニングしてください。 ● 交換または充電してください。 ● PHONES端子にしっかり接続する。
充電できない。	● 乾電池を使っている。	● 専用の充電式電池を本体側に入れてご使用ください。
＊ **" no DISC "が表示される。**	● ディスクが入っていない。 ● ディスクが裏返しになっている。	● 再生できるディスクを入れる。 ● ラベル面を上にしてディスクを入れる。
＊ **" ERROR "が表示される。**	● ディスクに異常がある（ディスクが読み込めないなど）。	● 再生できるディスクに交換する。
＊ **" no FILE "が表示される。**	● ディスクにMP3またはWMAファイルが収録されていない。	● 再生できるファイルが収録されているディスクに交換する。

＊ エラー表示されると、自動的に電源がオフになります。

ご注意：

1. 本システムはマイコンを使用していますので、外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。そのような場合、電源コードおよび電池を一度抜いてから、あらためてご使用ください。
2. ヘッドホンプラグを抜き差しすると誤動作することがありますが、故障ではありません。
3. 正しく書き込まれていないメディアやファイルは正しく再生できない場合があります。

MP3またはWMAファイルを再生する

制限フォルダ数(23)、ファイル数(200)を越えて収録されているメディアの制限数を越えた分のフォルダやファイルは再生されません。
WMAで著作権が有効に設定されて収録されているファイルは"PROTECTED FILE"と表示され、次のファイルへ移動します。
MP3またはWMAファイルが収録されているメディアの確認をするため、再生されるまでに時間がかかります。

再生する

メディアを入れ、ホールド機能が解除されていることを確認してから操作します。

1 PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押す

- 電源がオンになり、再生が始まります。
- リモコンのPLAY/PAUSEキーを押しても同様の操作ができます。
- ファイルは、収録された（書き込まれた）順に再生されます。
- 次の階層にフォルダがあるときは、📁マークが表示されます。
- 次の階層にファイルがあるときは、♪マークが表示されます。

2 VOLUME（ボリューム）つまみを回して、音量を調節する

停止する

STOP（ストップ）キーを押す

- リモコンのSTOP■キーを押しても同様の操作ができます。

ファイルの頭出しをする

|◀◀または▶▶|キーを押す

- 押した回数だけファイルの頭出しをします。押し続けると連続して再生するファイルが変わります。
- 再生中に|◀◀キーを1回押すと、再生中のファイルの最初に戻ります。
- ファイル数およびフォルダ階層の状態によっては、頭出しに時間がかかることがあります。

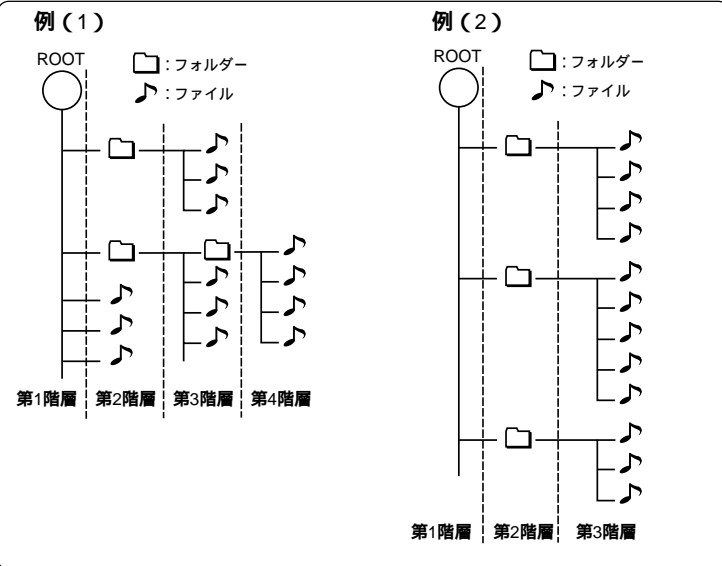
再生を一時停止する

本体のみ：
再生中にPLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押す

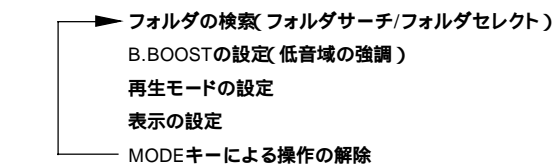
- 表示部に表示の設定モードの内容が点滅し、一時停止します。
- もう一度PLAY/PAUSEキーを押すと再生に戻ります。

早送り／早戻し

ご注意：
MP3、WMAファイルの場合は、早送り、早戻しはできません。

メディアのディレクトリ概念図

MODEキーを使って操作する

MODEキーを使って、フォルダの検索、音質や再生の方法や表示などを変えることができます。
MODEキーを押すたびに次のように設定するモードが変わります。

→ フォルダの検索（フォルダサーチ/フォルダセレクト）
B.BOOSTの設定（低音域の強調）
再生モードの設定
表示の設定
MODEキーによる操作の解除

- B.BOOSTの設定と再生モードの設定は、オーディオCDと同様です。オーディオCDの項のそれぞれの説明をご覧ください。

フォルダサーチ（再生中）

フォルダを順に選びます。

1 再生中にMODE（モード）キーを押して"FOLDER（フォルダ）"を点滅表示させる

- 8秒以内に次の操作をします。

2 ▶▶|または|◀◀キーを押してフォルダを選ぶ

▶▶|キー：書き込まれた順の次のフォルダが選ばれます。
|◀◀キー：書き込まれた順の前のフォルダが選ばれます。

- フォルダ名は"(　)"で表示されます。
- フォルダを選ぶと自動的にそのフォルダの最初のファイルから再生が始まります。
- ファイル数およびフォルダ階層の状態によっては、フォルダサーチに時間がかかることがあります。
- STOP■キーを押すとファイルがある最初のフォルダに戻ります。

フォルダセレクト（停止中）

再生したいフォルダを書き込まれた順に関係なく直接選びます（本体で操作）。

1 停止中にMODE（モード）キーを押して"FOLDER（フォルダ）"を点滅表示させたら、PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押してフォルダセレクトモードにする

- フォルダセレクト中は、📁マークや♪マークが点滅します。

2 ▶▶|または|◀◀キーを押して、同じ階層にあるフォルダを選ぶ

ROOT
⇕：|◀◀/▶▶|キーを押す
⟺：◀◀/▶▶キーを押す

▶▶|キー：同じ階層の次のフォルダが選ばれます。
|◀◀キー：同じ階層の前のフォルダが選ばれます。

▶▶または◀◀キーを押して、階層を移動する

▶▶キー：下の階層に移動します。
◀◀キー：上の階層に移動します。

- フォルダ名は"(　)"で表示されます。
- 選んだフォルダ内に別のフォルダがあるときは、📁マークが点滅表示されます。選んだフォルダ内にファイルがあるときは、♪マークが点滅表示されます。
- STOP■キーを押すとROOTに戻ります。

3 目的のフォルダを選んだら、PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押す

- 選んだフォルダの最初のファイルから再生が始まります。
- 選んだフォルダにファイルがないときは、次のフォルダのファイルが再生されます。

メディア内の情報を見る（表示の設定）

メディアに収録されているフォルダやファイルのタイトルやファイル数などの情報を見ることができます。

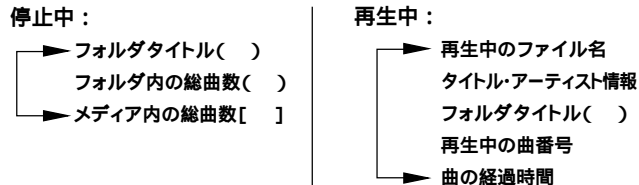
1 MODE（モード）キーを押して、メディア表示モードにする

- メディア表示モードは現在設定されているモードで点滅表示されます。
- 8秒以内に次の操作をします。

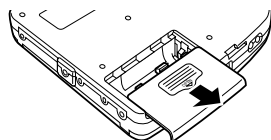
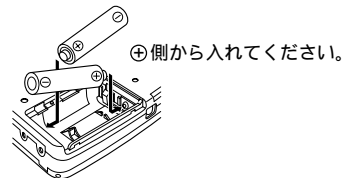
2 |◀◀または▶▶|キーを押して表示を変える

キーを押すたび表示の内容が次のように切り換わります。

停止中：
→ フォルダタイトル（　）
フォルダ内の総曲数（　）
→ メディア内の総曲数［　］

再生中：
→ 再生中のファイル名
タイトル・アーティスト情報
フォルダタイトル（　）
再生中の曲番号
→ 曲の経過時間

電池の入れかたと充電のしかた

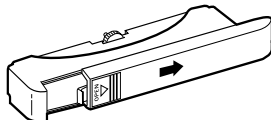
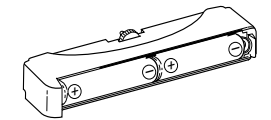
本体へ電池を入れる

1 カバーを開ける

2 ⊕極と⊖極に注意して電池を入れる

- 乾電池をご使用になるときは、市販の単3型アルカリ乾電池(LR6)をご使用ください。
- マンガン電池は、再生時間が極端に短くなることがあるため単3型アルカリ乾電池をご使用ください。
- 電池は2本一緒に交換してください。
- 充電式電池とアルカリ乾電池は混用しないでください。

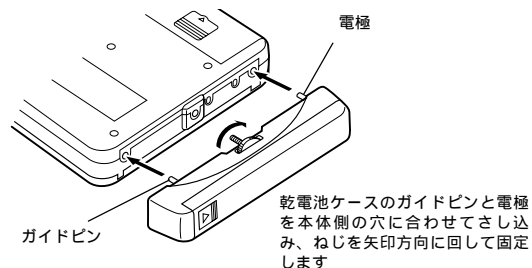
3 カバーを閉める

外部乾電池ケースの使いかた

本体にセットした充電式電池（または単三型アルカリ乾電池）と併用すると、長時間の連続再生を楽しめます。

1 乾電池ケースのふたをはずす

2 ⊕極と⊖極に注意して単3型アルカリ乾電池を入れる

- 外部乾電池ケースでは充電できません。
- マンガン電池は、再生時間が極端に短くなるため単三型アルカリ乾電池をご使用ください。
- 電池は2本一緒に交換して下さい。

3 ふたを閉める

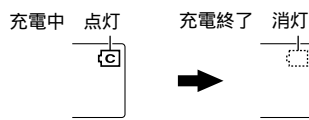
4 本体に取り付ける

ご注意：
長時間使用しないときは、乾電池ケースを取り外しておいてください。乾電池から充電式電池へ充電されるため、乾電池が早く消耗します。また、乾電池はケースから取り出しておいてください。

充電のしかた

- 充電式電池には、必ず付属品(NB-160)または別売品(NB-130)をご使用ください。ケンウッド専用のもの以外は絶対に使用しないでください。
- 外部電池ケースは取り外してください。

1 本体に充電式電池を入れ、ACアダプターを接続する

2 電源をオフにする

3 5秒待ってから、STOP（ストップ）キーを続けて2回押し、点灯を確認する

- 約6時間で充電タイマーがオフになります。充電が終了すると電源オフの状態に戻ります。

4 充電が終了したら、ACアダプターを本体からはずす

バッテリー消耗表示について

電池残量が少なくなると液晶ディスプレイの情報表示部が以下のように白黒反転表示します。

6:17

電池の種類によりバッテリーの消耗を示す白黒反転表示の時期が異なります。

電池の種類	白黒反転する時期	処置
充電式電池	電池の残容量が少なくなったとき	しばらくすると自動的に電源が切れます。改めて充電してください。
アルカリ乾電池	電池が約半分消耗したとき	点滅している間は再生ができます。
充電式電池 アルカリ乾電池 併用時	アルカリ乾電池が半分消耗したとき	点滅している間は再生ができます。

充電するか、新しいアルカリ電池に交換してください。
電池残量がなくなると、電源が自動的に切れます。

メンテナンス

簡単なお手入れ

レンズのお手入れ

レンズの汚れは、再生ができなくなるなど、故障の原因となります。市販のカメラ用レンズブロワーなどを使って、レンズをクリーニングしてください。機器を傷めることがありますので、レンズには手を触れないでください。また、市販のレンズクリーナー、ディスククリーナーなどは使用しないでください。

本体のお手入れ

本体の汚れは柔らかい布で、からぶきしてください。汚れがひどいときは、湿らせた布で拭いてください。ベンジン・シンナーなどは機器を傷めますので使用しないでください。

端子のお手入れ

ヘッドホンのプラグは柔らかい布でからぶきし、常にきれいに保つようにしてください。
汚れていると、雑音や誤動作の原因になります。

ディスク使用上のご注意

使用できるディスクについて

8cmシングル盤はそのまま再生できます。市販のシングルCDアダプターは使用しないでください。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

取り扱い

再生面に触れないように持ってください。
再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで、放射状に軽く拭き取ってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

結露について

暖房をつけた直後や、湿気（または湯気）の多い部屋などでは、本機のレンズに露がついて正しく働かないことがあります。このようなときは、数時間放置してから再生してください。

使用後は リサイクルへ
充電式電池

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

保証とアフターサービス （よくお読みください。）

1. **保証について**
   - 保証書－製品には保証書が（別途）添付されております。
     保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
   - 保証期間－お買い上げの日より1年間です。
     電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。
2. **修理に関するご相談ならびにご不明な点は**
   お買い上げの販売店または添付の「ケンウッドサービス網」に記載されている、当社サービス拠点にお問い合わせください。
3. **補修用性能部品の最低保有期間**
   ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
4. **修理を依頼されるときは**
   「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電池や電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または添付の「ケンウッドサービス網」に記載されている、当社サービス拠点にお問い合わせください。
   この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
   - お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
   - 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害
5. **アフターサービスについて**
   - 保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。
     修理に際しましては保証書をご提示ください。
   - 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
   - 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
   - 修理料金の仕組み（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）
     ①技術料　：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
     ②部品代　：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
     ③出張料　：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
   - 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかリモコン、ヘッドホン、充電器など付属品も一緒にお持ちください。
6. **本機に添付の保証書は、日本国内においてのみ有効です。**
   - **This warranty is valid only in Japan.**

Operating instructions

Please refer to the illustrations in the Japanese instruction when operating this unit.

Guidance on MP3/WMA

Media that can be played back with this equipment

Usable media apart from audio CDs (CD-DA)

Usable media: CD-ROM, CD-R, CD-RW
Usable formats: ISO9660 level 1 and level 2 (excluding expanded formats)
Files that can be played back: MP3 and WMA files

Creating media for playing back on this equipment

Compressing MP3 and WMA files

Please set up the transfer bit rate setting for the compression software when compressing MP3 and WMA files as follows:

MP3 Files: 128kbps recommended (32kbps-320kbps)
WMA Files: 128kbps recommended (64kbps-192kbps)

- This unit is compatible with 32 kHz, 44.1kHz (recommended) and 48kHz sampling frequencies.

Categorizing folders

As MP3 and WMA files are compressed into high-quality sound files at an extremely high rate of compression, it is possible to record several times more tracks than audio CDs onto a single medium. It is therefore convenient to split the tracks into different folders by genre, artist or album for retrieval and repeat playback purposes.

- There are cases where it is not possible to save folders in the desired sequence depending on the software being used.

Naming folders and files

Single-byte characters between A and Z, single-byte numerals between 0 and 9, and the single-byte underscore (_) can be used when naming files. A maximum of twelve characters can be displayed. Ensure that the ".MP3" (MP3 files) or ".WMA" (WMA files) extension logs are attached to all file names.

- Never add the MP3 or WMA extension logs to any files other than MP3 and WMA files. If the MP3 or WMA extension logs are added to any files other than MP3 and WMA files, the equipment will assume that they can be played back, and this will produce loud noises in the headphones, resulting in damage of adverse effects.

Hint for when naming folders and files

When media containing MP3 and WMA files are played back on this equipment, the sequence in which each track is played back will be the same as the sequence in which they were saved. It is possible to set up the playback sequence by adding numbers from between 01 and 99 to the front of the folder and the file name when saving the file.

- There are cases where it is not possible to save files in the desired sequence depending on the software being used.

Additional information

Depending on the MP3 and WMA compression software in use, it is possible to save track titles, artist names and other information together with each sound file as additional information.
Although it is possible to display pre-recorded title and artist information with this information, it is necessary to ensure that this information has been entered in single-byte alphanumericals (Up to a maximum of 30 alphanumericals for each).

- The method of entering title and artist information will differ in accordance with the compression software. Refer to the compression software's instruction manual or help file.

Confirming media and files

Check to ascertain that MP3 and WMA files can be played back correctly on the personal computer in use prior to saving them onto the media. Check to ensure that the saved file can be played back normally.

- It is not possible to confirm that files can be played back correctly while they are being saved onto the media.

When saving files onto media

Ensure that the session is closed or finalized when data has been written on media. There are cases where media on which the session has not be closed or finalized will not be played back correctly with this equipment.

- There are cases were the folder names and file names will not be displayed correctly depending on the software used to save them.
- Do not store files or folders other than MP3 and WMA on media to be played back with this equipment.
- It is recommended that ten or less sessions are stored when recording MP3 and WMA files onto a medium.
- There are cases where playback is not possible when MP3 and WMA files (CD-ROM) and music CD information (CD-DA) are saved on the same media.

Playing back Audio CD (CD-DA)

1. *Slide the OPEN/HOLD switch to open the top cover.*
2. *Load a disc.*
   - Secure the disc by pushing a position near the center hole until it clicks.
3. *Close the top cover.*
   - Press down on the central front portion of the top cover until it clicks.

Playback from the first track

Connect hedphones.

- Accepts the supplied headphones, or other optional headphones with a mini plug.
- The REMOTE terminal can be used only when the unit has headphones with remote controller.

1. *Make sure that OPEN/HOLD switch is set in the central position.*
   - Release the HOLD switch when performing an operation.
2. *Press the PLAY/PAUSE key to start playback.*
   - The power comes ON and playback begins.
3. *Turn the VOLUME knob to adjust the volume.*
   - When listening through headphones with the remote control, set the remote control volume to the maximum position, and adjust the listening volume with the volume knob on the player.

Skipping to a desired track.

Press the ⏮ or ⏭ keys.

⏮: Press to select the next track.
⏭: Press to select the previous track.

- The same number of tracks as the times the ⏮ key is pressed can be skipped.
- When the ⏮ key is pressed once during playback, the played position returns to the beginning of the current track being played.

Fast forward/fast reverse (Main unit only)

Hold the ◀◀ (fast reverse) key or the ▶▶ (fast forward) key pressed during playback.

- Playback resumes from the position where the key is released.

To pause playback temporarily (Main unit only)

Press the PLAY/PAUSE key during playback.

- The track number and the amount of time elapsed for the track being played back will blink in the display area, and playback will be paused.
- Pressing the key again resumes playback.

To stop playback

Press the STOP key.

- The total number of tracks and the total playing time of them will be displayed.
- The location that playback was stopped will be memorized automatically when the STOP/OFF key is pressed. Playback will be resumed form the memorized location when the PLAY/PAUSE key (PLAY/SKIP UP key on the remote control) is pressed.
  If the disc is replaced or the power is switched off, playback will starts from the first track.

To turn power OFF

Press the STOP ■ key again.

- The same operations can be performed by pressing the STOP ■ key on the remote controller.

Auto power-OFF function

- If no operation key has been pressed for 3 or more minutes while the unit is in the stop mode, the power is turned OFF automatically to prevent battery power consumption.

Hold function

The operation keys of the main unit are deactivated.
This position prevents undesired operation when the unit is put in a bag, etc.

- When the OPEN/HOLD switch on the unit is switched to HOLD position, the unit's keys are protected.
- When the HOLD switch on the remote control is switched to HOLD, the remote control keys are protected.
- Be sure to release the switch before performing any operations. Operations cannot be performed if it is in the HOLD position.

Notes for remote control

- Always ensure that the headphone plug is fully inserted before turning the power ON.

Sound skip guard function (D.A.S.C.)

When the D.A.S.C. function is operating, about a 10-second or 40-second portion of signals is always stored in memory. Consequently, when the unit receives an impact, playback will continue without interruption even if the signal from the light pickup is interrupted. The D.A.S.C. function will always be activated with MP3 and WMA files (approximately 110 seconds when saved with a transmission bit rate of 128kbps and a sampling frequency of 44.1kHz).

- Depending on the extent of the impact, the data in the memory may be used up, so the playback skip protection may momentarily be ineffective.

Setting the D.A.S.C. (Only Audio CDs (CD-DA))

- Each press of the key switches the mode as follows
  ① 40-SEC position (40 sec)
  ② 10-SEC position (10 sec)
  ③ D.A.S.C. function is released
- The reproduced sound is interrupted during switching.
- The D.A.S.C. setting will become 40-SEC when the top cover is opened.

Power sources

This unit can be powered with three kinds of supplies including the batteries, household power line and car battery.

Using the battery

Insert two batteries paying attention to the + and - polarity.

Using the AC adaptor

Connect to AC power outlet.

Using the car battery adaptor (optional)

Connect the optional car battery adaptor DC-C3A to cigar lighter socket.

When operating the unit with 2 alkaline batteries

1. *Open the battery cover.*
2. *Insert 2 alkaline batteries.*
   - Make sure the positive (+) and negative (-) poles are properly aligned.
   - Use commercially available AA (LR6) batteries. The unit may not operate normally if manganese batteries are used.
   - Replace both batteries at the same time.
   - Do not use rechargeable batteries and size AA alkaline batteries together.
3. *Close the cover*

Using the external battery case

This unit can be operated with 4 alkaline batteries, or with 2 rechargeable batteries and 2 alkaline batteries. When 4 batteries are used, the unit will operate for a longer time.

1. *Remove the cover on the battery case.*
2. *Taking care over the positive (+) and negative (-) poles, insert the size AA alkaline batteries*
   - It is not possible to recharge the batteries with the external battery case.
   - As playback time will be greatly reduced when manganese batteries are used, ensure that size AA alkaline batteries are used.
   - Make sure that both batteries are replaced when changing batteries.
3. *Close the cover.*
4. *Attach the case to the player.*

Note:

- Remove the battery case from the player when it is not to be used for long periods of time. As the dry-cell batteries will recharge the rechargeable batteries, the dry-cell batteries will run out quickly. Also, ensure that the batteries are removed from the case.

Charging the rechargeable batteries

Ensure that only the rechargeable batteries supplied with the player (NB-160) or NB-130 batteries (sold separately) are used. Batteries other than special Kenwood batteries must not be used under any circumstances.

1. *Insert the rechargeable batteries in the player, and then connect the AC adapter.*
2. *Switch the power OFF.*
3. *Wait for five seconds, press the STOP key twice in succession, and then confirm that the symbol is illuminated.*
4. *Disconnect the AC adapter from the player once recharging is complete.*

Notes:

- When using a rechargeable battery which is new or which has not been used for more than 2 months, the operating period may be shorter than nomal. This is due to the properties of the battery and not a malfunction.
- After recharging, use the battery on the unit unitl it is exhausted. The original performance of the battery perfomance can be recovered by repeating this cycle a few times.
- Recharging is not possible during playback. Be sure to switch the power OFF before starting recharging.
- Be sure to close the top cover of the unit before proceeding to recharging.
- Recharging completes in about 6 hours. Avoid recharging batteries over 8 hours.
- Rechargeable batteries can be recharged . When the playable time per recharge reduces, please newly purchase the optional (NB-130) rechargeable batteries.

Playing back MP3 and WMA files

- **It is not possible to play back folders (up to 23) and files (up to 200) that exceed the maximum limitations of the media.**
- **If the copyright is in effect for a WMA file, "PROTECTED FILE" will be displayed for that particular file and the player will move onto the next file.**
- **A certain amount of time is required for the player to confirm the media on which MP3 and WMA files have been recorded before playback will commence.**

Playback

Insert the media, and then confirm that the hold function is released.

1. *Press the PLAY/PAUSE key.*
   - The supply will be switched on and playback will commence.
   - The same operations can be performed by pressing the PLAY/PAUSE key on the remote controller.
   - The files will be played back in the sequence in which they were recorded (written).
   - The 🗀 mark will be displayed when a folder exists in the next layer.
   - The ♪ mark will be displayed when a file exists in the next layer.
2. *Turn the VOLUME knob to adjust the volume.*

To stop playback

Press the STOP button.

Skipping to or searching a desired file

Press the ⏮ or ⏭ keys.

- The beginning of the required file will be located in accordance with the number of times the keys are pressed. Keep the key pressed down to skip consecutively through the files to be played back.
- If the ⏮ key is pressed once during playback, playback will return to the beginning of the file.
- A certain amount of time may be required when searching for folders.

To pause playback temporarily (Main unit only)

Press the PLAY/PAUSE key during playback.

Fast forward and fast reverse

- Fast forwarding and fast reversing is not possible with MP3 and WMA files.

Using MODE key for operation

Setting up with the MODE key

Use the mode key to set or switch between the modes listed below.

Folder search (folder search/folder select) (MP-3 and WMA files only)
B.BOOST setting
Playback mode setting
Display setting
End the procedure by pressing the MODE key.

Searching a desired folder (Folder Search)

Sequentially select the folders.

1. *Press the MODE key repeatedly during playback to make the "FOLDER" display blink.*
   - Perform the next operation within 8 seconds.
2. *Press the ⏭ or ⏮ keys to select the required folder.*

- The folder name will be displayed inside parenthesis "( )".
- Playback will automatically start from the first file in the folder once a folder has been selected.
- A certain amount of time may be required when searching for folders.
- The player will return to the first folder in which files exists when the STOP ■ key is pressed.

Selecting folders (Folder Select) (Main unit only)

Selects the folders to be played back directly.

1. *Once the MODE key has been pressed repeatedly when stopped to make the "FOLDER" display blink, press the PLAY/PAUSE key to set the selection mode.*
2. *Press the ⏭ or ⏮ keys to select a desired folder in the same layer.*
   Press the ▶▶ or ◀◀ keys to move to the upper or lower layer.
   - The folder name will be displayed inside parenthesis "( )".
   - The 🗀 mark will blink if another folder exists within the selected folder.
   - The ♪ mark will blink if a file exists within the selected folder.
   - Press the STOP ■ key to return to ROOT.
3. *Select the required folder, and then press the PLAY/PAUSE key.*
   - Playback will start from the first file in the selected folder.
   - Files in the next folder will be played back when no files exist in the selected folder.

Compensation of low frequencies

The low frequencies sound, which is felt in headphone, can be boosted.

1. *Press the MODE key repeatedly to make [BB off] or [BB on] blink.*
   - Perform the next operation within 8 seconds.

2. *Press the ⏮ or ⏭ key.*
   - Each press of the key switches the mode as follows
     ① Bass Boost OFF
     ② Bass Boost ON
   - The B.BOOST setting is canceled when the top cover is opened.

Repeat playback/RANDOM playback

Pressing the MODE key in the play or stop mode allows you to enjoy various playback features.

1. *Press the MODE key repeatedly to display the playback mode.*
   - Perform the next operation within 8 seconds.
2. *Press the ⏮ or ⏭ key to select the playback mode.*
   - Each press switches the repeat modes as follows.
     ① **Off**
     Repeat playback and shuffle playback are released.
     ② **One-track repeat**
     The track being played or selected track will be played repeatedly.
     ③ **All-track repeat**
     All tracks on the disc will be played repeatedly (When CD-ROM is played, the files in the folder will be played repeatedly.).
     ④ **RANDOM playback** (Random playback can be selected when playback is stopped.)
     All tracks on the disc will be played in a random order. Playback will stop once all tracks have been played back. (Random playback can be released when playback is stopped. The Folder Seach and Folder Select functions cannot be used when the random mode is in effect.)
   - The preset playback mode will be displayed with an icon.
   - The B.BOOST setting is canceled when the top cover is opened.